平成 31 年(2019)3 月 31 日
学生委員会

平成 30 年度「学生の要望に関するアンケート」の結果と対応について

標題の件につきましては、本学に在籍する学部生 3,722 人を対象者とし、平成 30 年１２月 10 日～平成 31 年 1 月 20 日までの 1 か月間に調査を実施し、計 1,016 人からの回答を得ました。回答率は 27.3 セントでした。アンケートにつきましては、学生生活全般に対する質問事項を中心にとりあげ、要望については、自由記述とし、要望等につきましては、解決を図るべく対応をしていきたいと考えています。学生委員会としましては、大学関係者と共に内容を吟味し、必要に応じてそれぞれの事案に関し関係者と相談し、あるいは改善を見据えた要求を行うという対応をとることとしました。

⑴食堂

食堂に関しましては、過去のアンケートから、量が多い、価格が高い、混雑するなどの声が多くあります。食堂とは、これらの問題に関して、ハーフメニューの導入、メニューの多様化をはじめとし、混雑緩和策について協議を行ってまいります。季節限定メニューなどにも取り組みながら引き続き利用者の意見を踏まえて、多様な嗜好に対応できるようメニューの改善に向けた検討を行うとのことです。食事の値段に対しては、他大学に比べ決して高いとは言い難いのが現状です。昼休みの混雑につきましては、食事の提供の迅速化に努めていくとのことです。また昼休みには、多くの学生が集中することから、学生ホールについては、昼休みを食事の場としていますので、混雑回避の１つとして、コンビニの弁当、弁当持参などにより回避して頂きたいと考えています。今後も学生の利用満足度が向上できるよう、食堂と協議を行い、出来る限りの改善を図っていきます。

⑵スクールバス

スクールバスについては、８時台のバス利用の乗車混雑に対して沢山の不満の声が聞かれています。運行台数につきましては、朝の混雑時は運行台数を 11 台の最大輸送とし、スクールバス時刻表に表示している時刻以外に、満車になり次第順次発車させ、大学と松永バス停間をピストン輸送していますが、JR 利用学生と近隣学生が同時刻に集中すれば、輸送力の限界を超え、乗車に待ち時間を要することになります。立乗りに関して添えますと、席数のみの学生を輸送すると輸送能力が激減しますので、現状の授業に間に合わすためにも、約 10 分～15 分の乗車時間ですので、ほぼ満席状態での運用についてご理解をお願いします。また、夕方のバス運行につきましても、満車になり次第順次発車させ、時刻表以上の運行を致していますのでご理解をお願いしますが、JR のダイヤとの兼ね合いにつきましては、山陽線の上下、糸崎駅での山陽線、呉線への乗り換え、福山駅での福塩線との乗り換えなど複雑多岐にわたり、多様な検討を重ねているところでございます。当面は、現行ダイヤを継続して引続き状況を見定めようと考えます。土日のバス運行につきましては、利用状況など諸事情を考慮して運行計画を行っています。資格試験など行事等があればその実情に合わせて運行時間、本数を決定していますので了承しておいてください。松永バス停において混雑時歩道から人があふれ危険とのことですが、スクールバス利用については、近隣住民の迷惑回避及び安全確保のため、生活道路を一杯になって通行することなく、歩道通行を行い、二列で他の歩行者の妨害にならないよう常々お願いしていますので、安全対策も含め車道に出ることのないよう引き続きご協力をお願いします。

⑶コンビニ

コンビニエンスストアは、平成29年４月から内装の改装、イートインコーナーのテーブル・椅子の更新、レジの増設、営業時間の延長を行い、学生並びに教職員の利便性の向上を図っているところです。営業時間に関しては、利用状況等により見直しを行っていきます。

⑷トレーニングルーム

トレーニングルームにつきましては、破損された壁の修復、トイレ、シャワールーム等の清掃を行い、破損していた器具の修復並びにダンベルの整備など行ってきました。衛生面の改善については、学友会を中心に利用者・部活と協力して清掃を行い清潔な環境を維持されることを提案します。また、一部学生の占有などの苦情に関しましては、学生、教職員の福利厚生施設であることを念頭に、使用マナーを守って多くの人が快く利用できるように協力をお願いします。

⑸教室施設関係

教室に関して、空調設備の不具合、プロジェクターの不具合など設備関係の要望が多数見受けられました。机、椅子等につきましては、学年暦の節目節目で点検修復し、破損については個別対応していますので、不具合があれば申し出てください。また、プロジェクターにつきましては、順次増設を行うとともに、故障等については個別に更新等の措置を取っていますのでご理解をお願いします。

⑹その他施設関係

その他の大学施設についても,施設の改修・充実に取り組んで行きますが、ゴミ分別の励行や、たばこのポイ捨ての絶無に向けてご協力をお願いするところでございます。学生と教職員が共同して、環境の整備に努め、快適なキャンパスライフが送れるよう努めて頂きたいと思います。引き続き、人を大切に、物を大切に、環境に配意して活気ある大学にしましょう。